

東永谷中だより

横浜市立東永谷中学校

令和3年10月号



分散登校～対面とオンラインで思うこと～



副校長 椎名陽介

朝晩と涼しくなり、秋も深まってきました。空気が澄んできて星空や虫の音もにぎやかです。学校もようやく通常の登校となり、校舎や校庭に活気もどりました。生徒のみなさんの笑顔も増したように感じます。

さて、コロナ禍で生活が一変してから1年半以上も月日経ち、世の中はオンライン化がさらに進みました。学校も同様、職員室の景色も変わりました。この夏は、感染の拡大状況がこれまでにない状態になり、9月の分散登校の中、職員は朝からPC端末を片手に健康観察の確認や授業の準備、整理作業に追われました。これまで経験のない中、手探りで試行錯誤を積み重ね、生徒のみなさんも学校の端末を持ち帰り、学習課題の確認や提出に追われたことと思います。登校時は対面で授業、そして自宅ではプリントやPC端末で自習、朝学活や教科によってはオンラインでの授業も行いましたが1日おきの登校で生活のリズムを整えるのも大変だったのではないのでしょうか。

オンライン化は遠隔でのコミュニケーションが可能になり、教室内にとどまらず校内や学校間、家庭や地域、国内外などその交流範囲が大きく広がりました。一方で対面でしか得られないものもあります。直接交流することで、得られるもの深め合えることとは何でしょうか。ある教室を覗くと教師の説明に真剣な表情で聞きながら聞き入っている生徒のみなさんの姿がとても印象的でした。そんな姿に教師も一層指導に熱が入っているようで何とも心地のよい空間です。学校では、友だちの頑張っている様子や教師からの働きかけが良い刺激になったりするものです。また、部活動や休み時間など、友だちとの会話も楽しみひとりで、生徒のみなさんはそういった触れ合いを通して相手の気持ちを察したり押し量ったりもしています。他者との程よい距離感も、こういった経験の積み重ねで獲得していくものではないのでしょうか。日常の生活を大切にしながら、自分のペースで一步一步成長して行ってほしいなと思います。

今年度も折り返し地点になりました。10月からは生活が通常の状態に戻ることを願い、活動のひとつひとつを大切に取組んでいきましょう。

保護者の皆様、地域の皆様、今月もどうぞよろしくお願いいたします。